

## ■温室効果ガス削減の目標

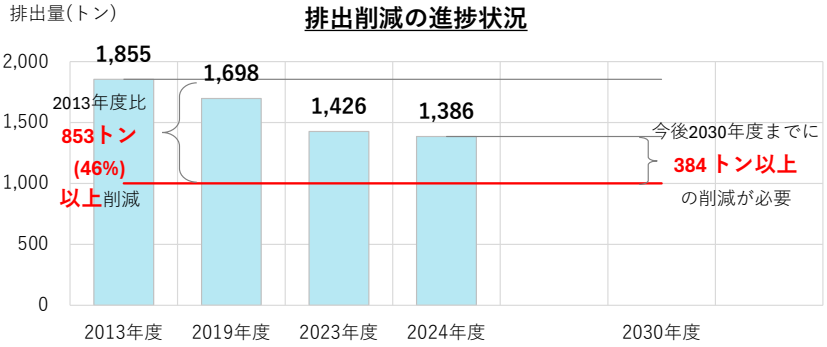
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (853トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

## ■温室効果ガス排出量の推移

米子空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比40トン減少の1,386トンである。  
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後384トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	1,779	1,607	1,355	1,307
空港車両	76	90	91	79
計	1,855	1,698	1,426	1,386

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数… 2019年度：0.636、2023年度：0.551、2024年度：0.520  
空港全体の商用電力使用量(kWh) …2019年度：252.7万、2023年度：242.3万、2024年度：251.2万

## ■2020～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

米子空港では、2020～2024年度にかけて、コロナ禍以降の空港の利用の回復が見られ、2024年度には旅客数がコロナ前水準 (2019年度) を上回った。空港全体の商用電力使用量に大きな変動は確認されず、主に契約されている電力会社の排出係数の低下を主な背景として、温室効果ガス排出量は減少傾向にある。

## ■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	➢ 建築施設照明のLED化、建築施設の熱負荷低減、空調の高効率熱源の導入の取組が行われた。
空港車両に係る取組	➢ 電動車の導入が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)